

# 令和3年度 道徳教育実施状況調査について

文部科学省初等中等教育局教育課程課  
教科調査官 飯塚 秀彦

## I はじめに

### 道徳教育の課題と特別教科化がめざすもの

#### 量的課題

- 歴史的経緯に影響され、いまだに **道徳教育そのものを忌避しがちな風潮**がある。
- **他教科等**に比べて軽んじられ、他の教科等に振り替えられていることもあるのではないか。

年間35単位時間を  
確実に確保するという  
**量的確保**

#### 質的課題

- 教員をはじめとする教育関係者にもその理念が十分に理解されておらず、**効果的な指導方法も共有されていない**。
- 地域間、学校間、教師間の差が大きく、道徳教育に関する理解や道徳の時間の指導方法にばらつきが大きい。
- **授業方法が、読み物の登場人物の心情を理解させるだけなどの型にはまったものになりがちである**。
- 学年が上がるにつれて、**道徳の時間に関する児童生徒の受け止めがよくない**状況にある。

児童生徒一人一人が、  
答えが一つではない  
道徳的な課題を自分自身の  
問題として捉え向き合う  
「**考え、議論する道徳**」への  
**質的転換**

(「道徳教育の充実に関する懇談会」報告(H25.12.26)における指摘より)

### 道徳の「特別の教科」化(学習指導要領の改正)

教育再生実行会議の提言や中央教育審議会の答申を踏まえ、学習指導要領の一部を改正し、「道徳の時間」(小・中学校で週1時間)を「**特別の教科 道徳**」(「**道徳科**」)(引き続き週1時間)として**新たに位置付ける**(平成27年3月27日)。平成30年4月から小学校にて全面实施(中学校は31年度から)

#### 【特別の教科】

道徳は、学級担任が担当することが望ましいと考えられること、**数値などによる評価はなじまない**と考えられることなど、各教科にない側面があるため、「特別の教科」という新たな枠組みを設け、位置付ける。

#### 具体的なポイント

- ☑ 道徳科に**検定教科書を導入**
- ☑ 内容について、**いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なもの**に改善  
「個性の伸長」「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加
- ☑ **問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫**
- ☑ 数値評価ではなく、**児童生徒の道徳性に係る成長の様子**を認め、励ます評価(記述式)  
指導要録の様式例は示すが、内申書には記載せず、入学者選抜に使用しない

※私立小・中学校はこれまでどおり、「道徳科」に代えて「宗教」を行うことが可能

「**答えが一つではない課題に子供たちが道徳的に向き合い、考え、議論する**」道徳教育への転換により児童生徒の道徳性を育む。

# 令和3年度 道徳教育実施状況調査の概要

## 1. 調査の目的

道徳科を要とした道徳教育の全国的な取組状況や課題を把握することで、今後の道徳教育のさらなる改善、充実を図るために必要な知見を得る。

## 2. 調査対象

- ・公立小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）  
 ※無作為抽出により小学校1,197校、中学校1,144校
- ・全ての都道府県、市区町村の教育委員会（計1,784）

## 3. 調査内容

調査項目（小・中学校対象）	調査項目（教育委員会対象）
設問1 道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点	設問1 道徳教育の充実のためにやっている取組
設問2 道徳教育の充実のために学校として行った取組	設問2-① 道徳教育のさらなる充実のために特に課題となっていること
設問3 道徳教育を推進する上での課題	設問2-② 課題解消に向けた方策のうち、単独での対応が困難なもの
設問4 道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫	設問3 道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化
設問5 道徳科の評価の工夫	設問4 道徳の「特別の教科」化を受けた学校におけるその他の変化
設問6 道徳科の授業を実施する上での課題	
設問7 道徳科の評価を行う上での課題	
設問8 道徳教育の校内研修実施回数	
設問9 校内研修で重点を置いていること	
設問10 道徳教育推進教師が重点を置いて取り組んでいること	
設問11 道徳教育の充実のために参考としている情報	
設問12 道徳の「特別の教科」化を受けた変化	
設問13 道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化	

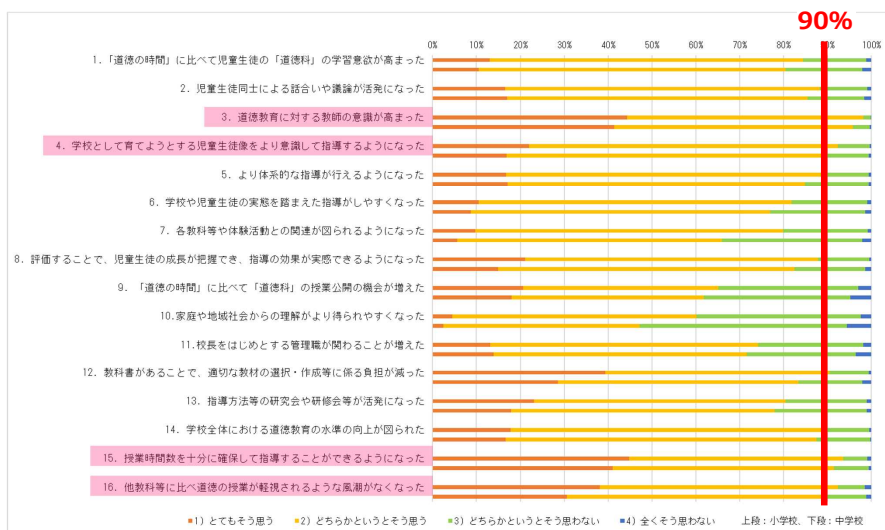
5

# Ⅱ 道徳の「特別の教科」化による変化

## Ⅱ 道徳の「特別の教科」化による変化

### 調査結果（小・中学校）

#### 【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化



7

## Ⅱ 道徳の「特別の教科」化による変化

### 調査結果（教育委員会）

#### 【設問3】道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化

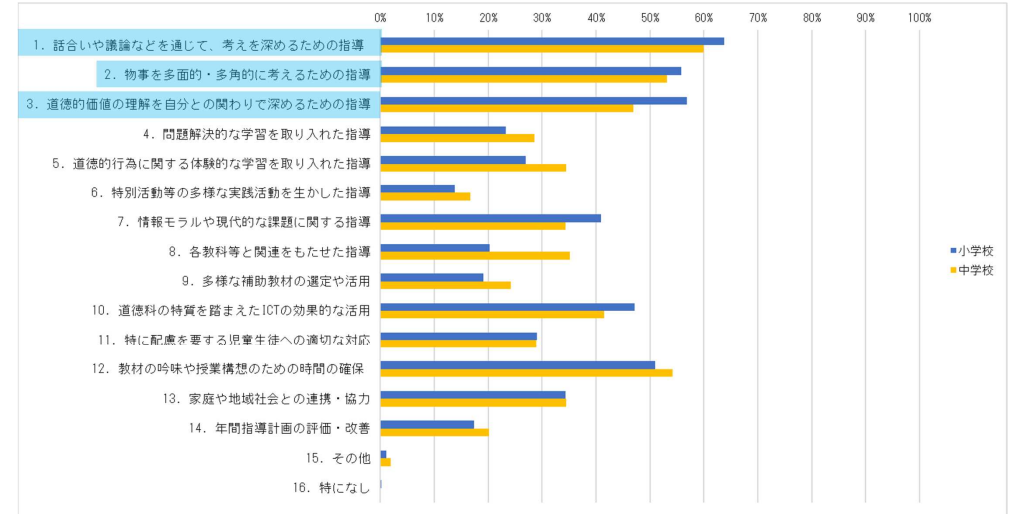


8

# III 道徳科の授業改善

調査結果（小・中学校）

【設問6】道徳科の授業を実施する上での課題（複数回答可）

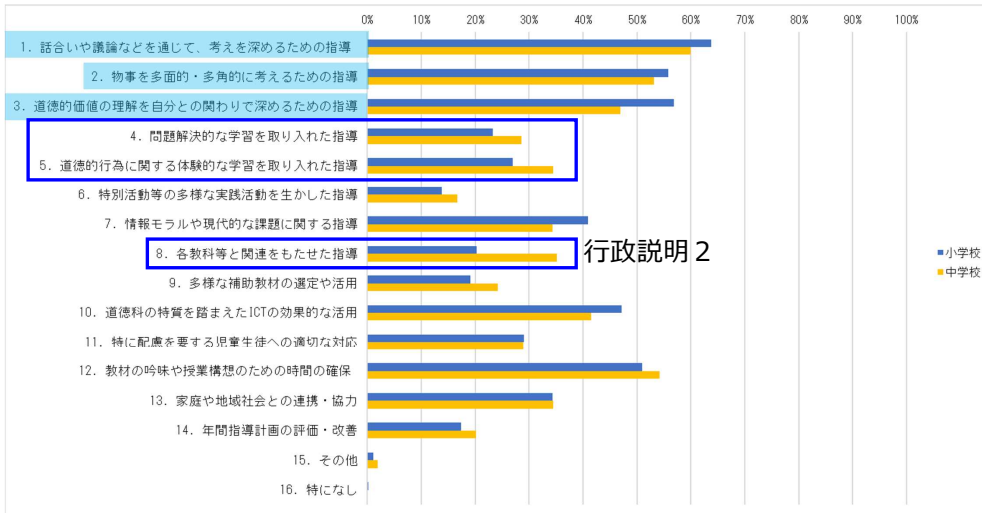


10

## III 道徳科の授業改善

調査結果（小・中学校）

【設問6】道徳科の授業を実施する上での課題（複数回答可）



行政説明 2

11

## III 道徳科の授業改善

### ➤ 道徳科の特質を生かした学習指導

- ・ 話し合いや議論などを通じて、考えを深めるための指導
- ・ 物事を多面的・多角的に考えるための指導
- ・ 道徳的価値の理解を自分との関わりで深めるための指導

### ➤ 多様な方法を取り入れた学習指導

- ・ 問題解決的な学習を取り入れた指導
- ・ 道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた指導

12

## &gt; 道徳科の特質を生かした学習指導

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.76)

## (1) 道徳科の特質を理解する

道徳科は、生徒一人一人が、ねらいに含まれる**道徳的価値**についての理解を基に、**自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習**を通して、**内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく時間である**ことを理解する必要がある。

## 調査結果(教育委員会)

設問2①道徳教育のさらなる充実のために特に課題となっていること  
(記述回答)

- ・中学校ではまだまだ教師主導の授業がみられる。
- ・昔ながらの指導(教師が一方的に教え諭す授業)から脱却できず、道徳科としての指導法の改善がなかなか進まない。
- ・資料の読解や教師の価値の押し付けに終始する道徳の授業が散見される。
- ・教材文の読み取りに偏った授業や、一問一答でのやり取り中心の筋書き通りの授業からの脱却ができていないこと。

13

## &gt; 道徳科の特質を生かした学習指導

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.117)

## 2 授業に対する評価の基本的な考え方

- イ 発問は、**生徒が広い視野から多面的・多角的に考えることができる問い、道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問い**など、**指導の意図**に基づいて的確になされていたか。
- ウ **生徒の発言を傾聴して受け止め、発問に対する生徒の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。**

14

## &gt; 道徳科の特質を生かした学習指導

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.78)

## (6) 道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実する

また、教師は自らの個性を十分に生かして指導に当たることが望ましい。なぜなら、**教師の人間味ある指導の下でこそ、生徒が充実感をもって語り合い、考え、議論するような指導が展開できる**からである。その際、**教師は生徒と共に考え、悩み、感動を共有していくという姿勢で授業に臨み、生徒が自ら課題に取り組み、考え、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことができるように配慮することが必要**である。

15

## &gt; 道徳科の特質を生かした学習指導

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.92)

## (3) 人間としての弱さを認め、それを乗り越えてよりよく生きようとすることのよさについて、教師が生徒と共に考える姿勢を大切にす

中学生になると、生徒は自らの長所や短所をある程度まで自覚するようになり、自分の弱さや人間としての弱さを素直に認めて受容できるようになる。しかし、それをそのまま容認するのではなく、人間には自らの弱点や短所を克服して、自らの強みや長所を更に伸ばし、よりよく生きることができるようたくましさやすばらしさがあることも理解できるようになる。

そこで、こうした人間として生きること喜びを見だし、現在の自分の弱さや限界を乗り越え、誇りある人間らしい生き方に近づくような学習が望まれる。**こうした道徳科の学習では、教師が生徒に対して特定の価値観を教え込むのではなく、教師が生徒と共に人間の弱さを見つめ合い、考え合った上で、夢や希望などを共に語り合うような姿勢をもつことが大切**になる。

16

### ➤多様な方法を取り入れた学習指導

#### 『中学校学習指導要領』第3 指導計画の作成と内容の取扱い

- (5) 生徒の発達段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、**問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法を工夫すること。**その際、それらの活動を通じて学んだ内容の意義などについて考えることができるようにすること。また、特別活動等における多様な実践活動や体験活動も道徳科の授業に生かすようにすること。

17

### ➤多様な方法を取り入れた学習指導

#### 『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.96～)

#### (1) 道徳科における問題解決的な学習の工夫

また、**問題解決的な学習では、教師と生徒、生徒相互の話し合いが十分に行われることが大切**であり、**教師の発問の仕方の工夫などが重要**である。

〈参考〉

【教師の主な発問例】

- ・ここでは、何が問題になっていますか。
- ・何と何で迷っていますか。
- ・なぜ、■■（道徳的諸価値）は大切なのでしょう。
- ・どうすれば■■（道徳的諸価値）が実現できるのでしょうか。
- ・同じ場面に出会ったら自分ならどう行動するでしょう。
- ・なぜ、自分はそのように行動するのでしょうか。
- ・よりよい解決方法にはどのようなものが考えられるでしょう。

（道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議「『特別の教科 道徳』の指導方法・評価等について（報告）」別紙1「道徳科における質の高い多様な指導方法について（イメージ）」）

19

### ➤多様な方法を取り入れた学習指導

#### 『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.96～)

#### (1) 道徳科における問題解決的な学習の工夫

道徳科における問題解決的な学習とは、**生徒一人一人が生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題**を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習である。そうした**問題や課題**は、多くの場合、**道徳的な判断や心情、意欲に誤りがあったり、複数の道徳的価値が衝突したり**するために生じるものである。

〈参考〉

- ・道徳的な問題場面には、⑦道徳的諸価値が実現されていないことに起因する問題、⑧道徳的諸価値についての理解が不十分又は誤解していることから生じる問題、⑨道徳的諸価値のことは理解しているが、それを実現しようとする自分とそうでない自分との葛藤から生じる問題、⑩複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題などがあり、これらの問題構造を踏まえた場面設定や学習活動の工夫を行うことも大切である。

（中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」(p.226～)）<sup>18</sup>

### ➤多様な方法を取り入れた学習指導

#### 『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.96～)

#### (1) 道徳科における問題解決的な学習の工夫

道徳科において問題解決的な学習を取り入れた場合には、その課題を自分との関わりや人間としての生き方との関わりで見つめたときに、**自分にはどのようなよさがあるのか、どのような改善すべきことがあるのかなど、生徒一人一人が道徳上の課題に対する答えを導き出すことが大切**である。そのためにも、授業では自分の気持ちや考えを発表するだけでなく、**時間を確保してじっくりと自己を見つめ直して書くことなども有効**であり、指導方法の工夫は不可欠である。

現代的な課題を道徳科の授業で取り上げる際には、問題解決的な学習を活用することができる。

20

### ➤多様な方法を取り入れた学習指導

『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.96)

#### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫

道徳的諸価値を理解したり、自分との関わりで多面的、多角的に考えたりするためには、例えば、**実際に挨拶や丁寧な言葉遣いなど具体的な道徳的行為を通して、礼儀のよさや作法の難しさなどを考えたり、相手に思いやりのある言葉を掛けたり、手助けをして親切についての考えを深めたりするような道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れることが考えられる。**さらに、読み物教材等を活用した場合には、その教材に登場する人物等の言動を即興的に演技して考える役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れた学習も考えられる。

21

### ➤多様な方法を取り入れた学習指導

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.97～)

#### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫

道徳的諸価値を理解するためには、例えば、**具体的な道徳的行為の場面を想起させ追体験させて、実際に行うことの難しさとその理由を考えさせ、弱さを克服することの大切さを自覚させることなどが考えられる。**また、**道徳的行為の難しさについて語り合ったり、それとは逆に、生徒たちが見聞きしたすばらしい道徳的行為を出し合ったりして、考えを深めることも考えられる。**さらに、読み物教材等を活用した場合には、その教材に登場する人物等の言動を即興的に演技して考える役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れた学習も考えられる。

22

### ➤多様な方法を取り入れた学習指導

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(p.97～)

#### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫

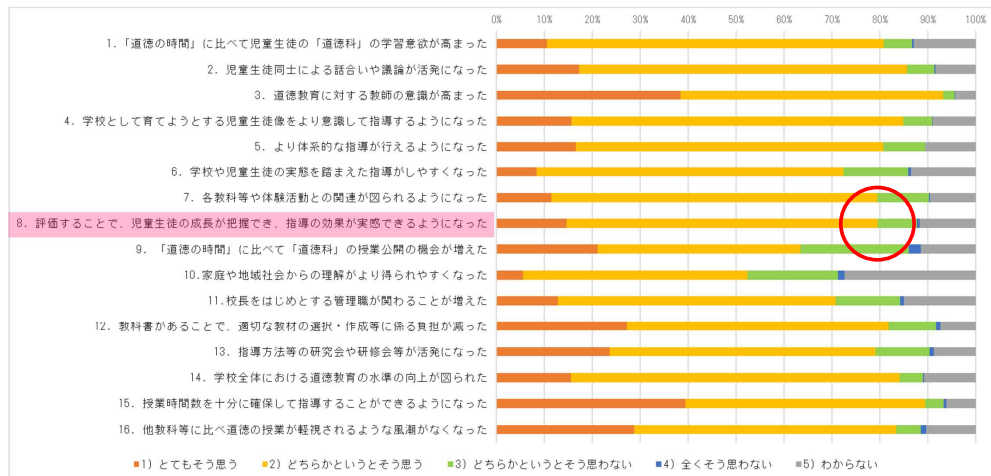
これらの方法を活用する場合は、単に体験的行為や活動そのものを目的として行うのではなく、**授業の中に適切に取り入れ、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるようにすることが重要**である。道徳科の授業に体験的な学習を取り入れる際には、単に活動を行って終わるのではなく、生徒が体験を通じて学んだことを振り返り、その意義について考えることが大切である。体験的な学習を通して道徳的価値の理解を深め、様々な課題や問題を主体的に解決するための資質・能力の育成に資するように十分に留意する必要がある。

23

## Ⅳ 道徳科の評価の工夫

調査結果（教育委員会）

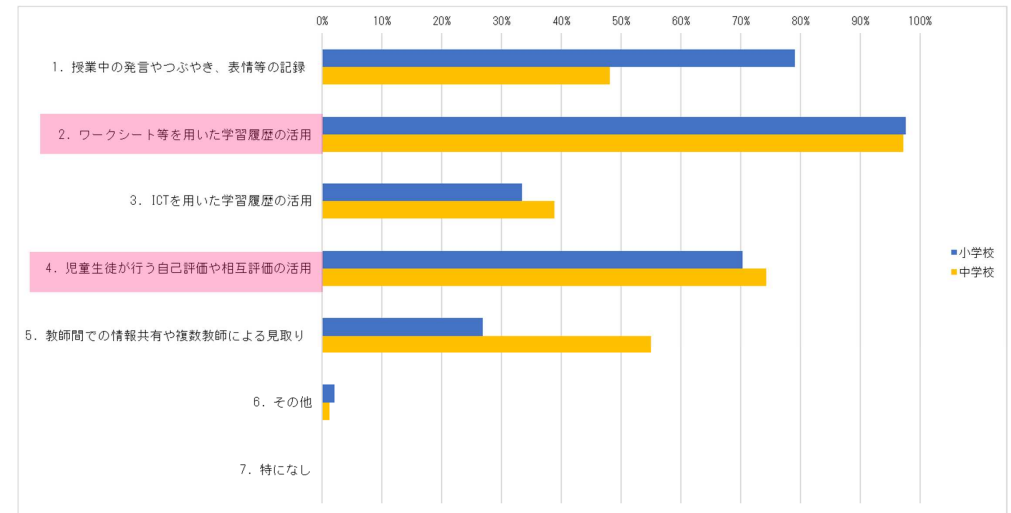
## 【設問3】道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化



25

調査結果（小・中学校）

## 【設問5】道徳科の評価の工夫（複数回答可）



26

## III 道徳科の授業改善

## ➤道徳科における評価

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』（p.109）

## 1 道徳教育における評価の意義

学習における評価とは、**生徒にとっては、自らの成長を実感し意欲の向上につなげていくもの**であり、教師にとっては、指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるものである。

ワークシート等を用いた学習履歴、自己評価や相互評価  
→**生徒が、自らの成長を実感し、意欲の向上につながるもの**

27

## III 道徳科の授業改善

## ➤道徳科における評価

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』（p.112）

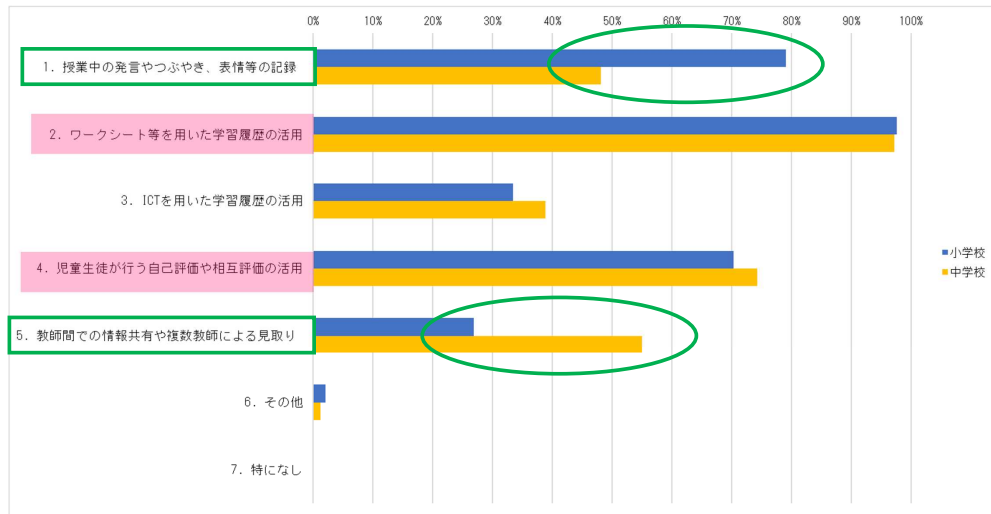
## (1) 道徳科に関する評価の基本的な考え方

その際、**個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価**とすることや、他の生徒との比較による評価ではなく、**生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行う**ことが求められる。

28

調査結果（小・中学校）

## 【設問5】道徳科の評価の工夫（複数回答可）



29

## &gt;道徳科における評価

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』（p.114）

さらに、年に数回、教師が交代で学年の全学級を回って道徳の授業を行うといった取組も効果的である。

何度も同じ教材で授業を行うことにより指導力の向上につながるという指導面からの利点

## 〈ローテーション授業〉

30

## &gt;道徳科における評価

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』（p.114）

## (3) 評価のための具体的な工夫

さらに、年に数回、教師が交代で学年の全学級を回って道徳の授業を行うといった取組も効果的である。

何度も同じ教材で授業を行うことにより指導力の向上につながるという指導面からの利点とともに、**学級担任が自分の学級の授業を参観することが可能となり、普通の授業とは違う角度から生徒の新たな一面を発見することができるなど、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子をより多面的・多角的に把握することができる**といった評価の改善の観点からも有効であると考えられる。

## 〈ローテーション授業〉

31

## &gt;道徳科における評価

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』（p.114）

## (4) 組織的、計画的な評価の推進

また、校長や教頭などの授業参加や他の教師との協力的な指導、保護者や地域の人々、各分野の専門家等の授業参加などに際して、学級担任以外からの生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子について意見や所感を得るなどして、学級担任が生徒を多面的・多角的に評価したり、教師自身の評価に関わる力量を高めたりすることも大切である。なお、先に述べた、**教師が交代で学年の全学級を回って道徳の授業を行う**といった取組は、**生徒の変容を複数の目で見取り、評価に対して共通認識をもつ機会となるものであり、評価を組織的に進めるための一つの方法としても効果的**であると考えられる。

→学級担任の負担感の軽減

→道徳科の評価の妥当性、信頼性の担保

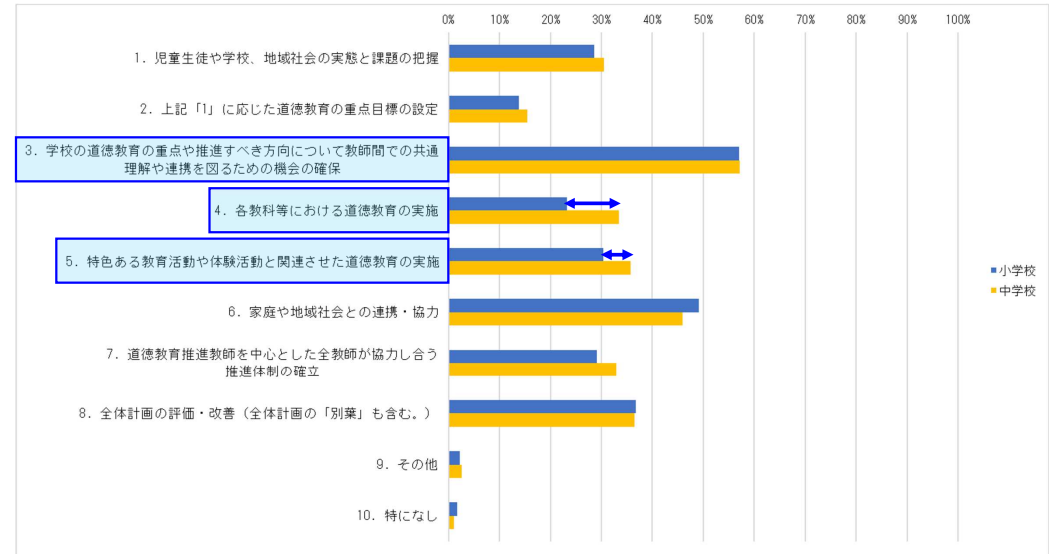
32



## V 諸計画の作成・活用

### 調査結果（小・中学校）

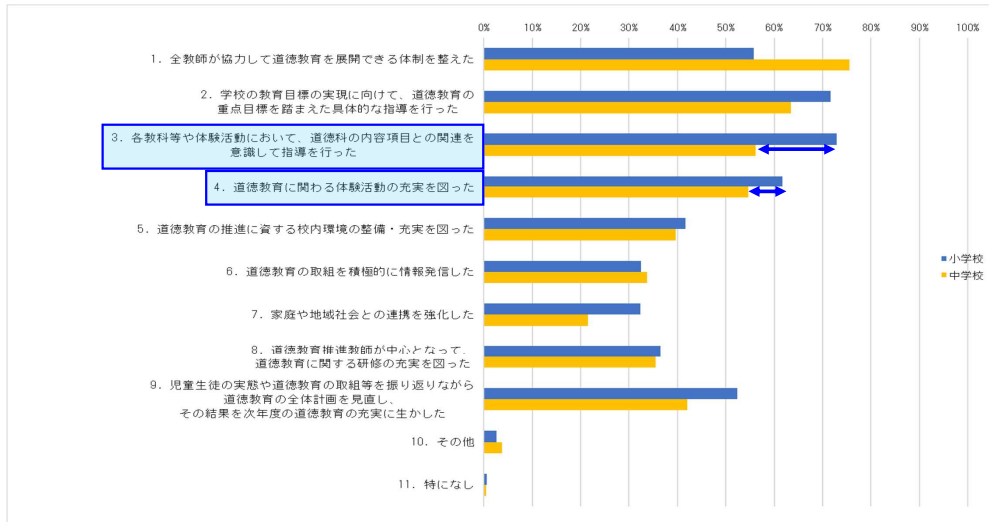
#### 【設問3】 道德教育を推進する上での課題（複数回答可）



## V 諸計画の作成・活用

### 調査結果（小・中学校）

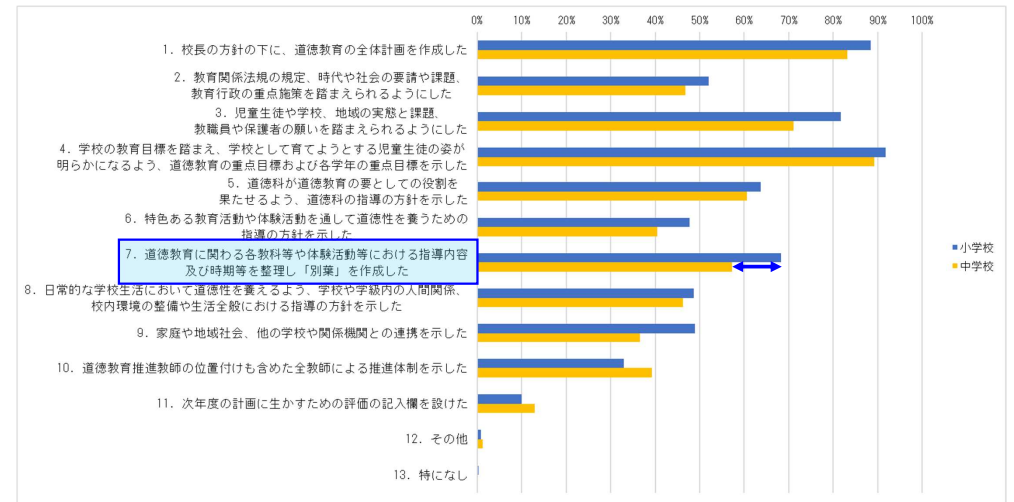
#### 【設問2】 道德教育の充実のために学校として行った取組（複数回答可）



## V 諸計画の作成・活用

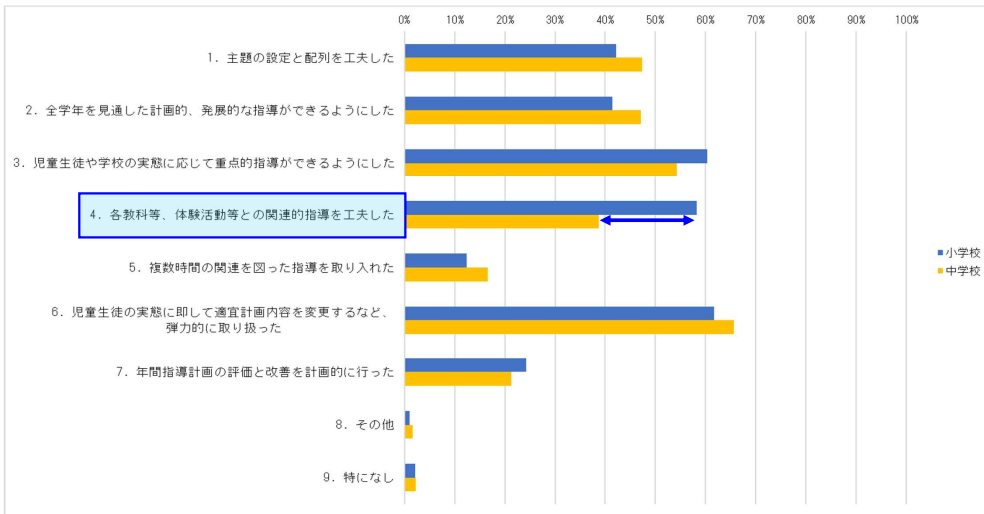
### 調査結果（小・中学校）

#### 【設問1】 道德教育の全体計画作成に当たり留意した点（複数回答可）



調査結果（小・中学校）

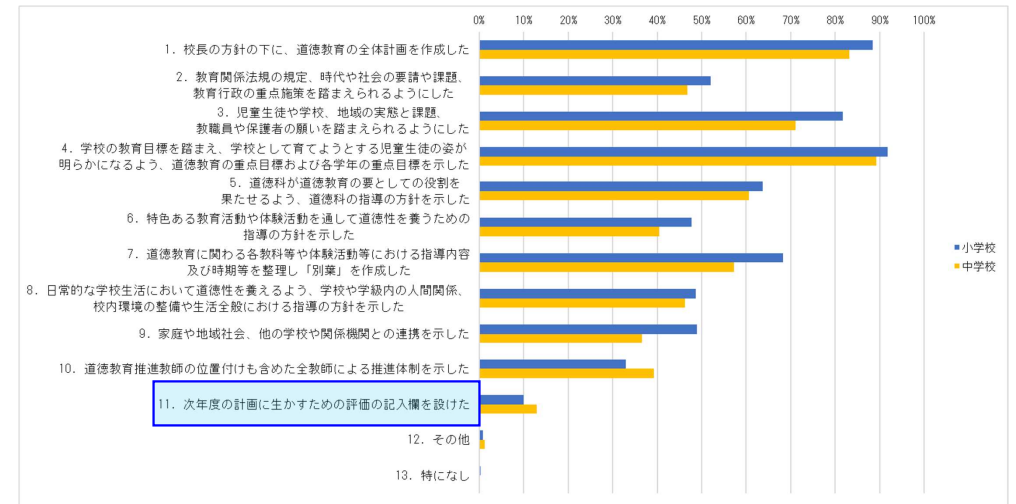
【設問4】 道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫  
(複数回答可)



VI 家庭・地域社会との連携

調査結果（小・中学校）

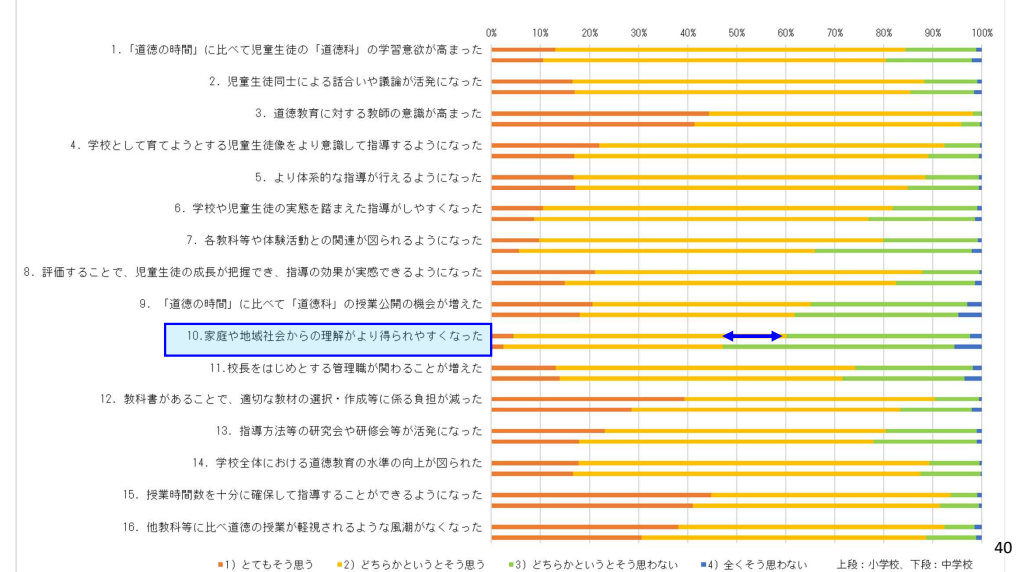
【設問1】 道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点（複数回答可）



VII 家庭・地域社会との連携

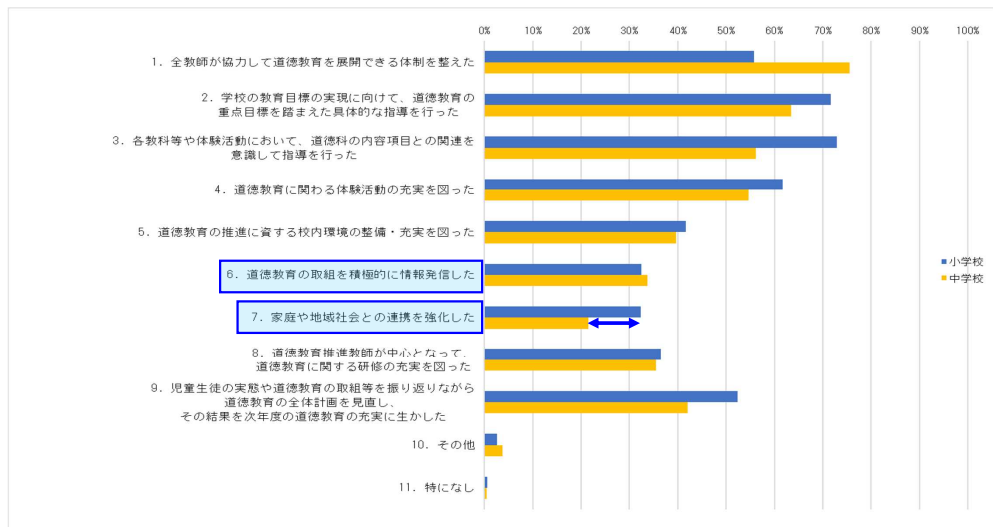
調査結果（小・中学校）

【設問12】 道徳の「特別の教科」化を受けた変化



調査結果（小・中学校）

【設問2】 道徳教育の充実のために学校として行った取組（複数回答可）



41

Ⅶ 今後の充実に向けた国の取組への示唆

Ⅷ 今後の充実に向けた国の取組への示唆

全国の優れた実践事例・参考資料を集めた教師のためのWebサイト

### 道徳教育アーカイブ

文部科学省では、「特別の教科 道徳」の趣旨の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料等を提供し、学校の取組を全力で支援します。

道徳教育アーカイブ  
～「特別の教科 道徳」の全面実施～  
<https://doutoku.mext.go.jp>  
道徳教育アーカイブ

<p>● 授業映像 ●</p> <p>実際の授業の映像と授業者へのインタビューを通して、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる工夫のポイントを紹介。研修等においても活用しやすいように1事例20分程度の動画として編集している。「自分ならはこういう工夫をする」「この発問は効果的である」といったことを話し合ったり、検討したりするなど、様々な方法で活用いただくことを想定。</p>	<p>● 工夫事例（指導案） ●</p> <p>各都道府県等で行われている道徳の授業の実践例（指導案）のうち、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となると考えられる事例を紹介。</p>	<p>● いじめ防止を扱う実践事例 ●</p> <p>道徳の授業における実践例に加え、特別活動（生徒会活動）で取り組む事例を含め、各都道府県で実際に行われている、いじめの防止に関わる具体的な問題場面を取り扱った事例を紹介。</p>	<p>● 道徳教育を知るための資料 ●</p> <p>道徳教育を知るための基礎資料として、道徳の「特別の教科」化の経緯に関する資料、学習指導要領解説や研修用資料、道徳教育実施状況調査の結果及び結果のポイントについての教科調査室による解説動画などを掲載。</p>
<p>● 授業で使える郷土教材 ●</p> <p>教科書とあわせて、授業で活用できる郷土の伝統や文化、偉人などに関するものなど、各都道府県等が作成した地域の特色ある教材を紹介。</p>	<p>● 教育委員会作成指導資料 ●</p> <p>各都道府県等の教育委員会が、教師向けに独自で作成した道徳教育のポイント等をまとめた指導資料や実践資料集等を掲載。</p>	<p>● 文部科学省作成資料 ●</p> <p>「私たちの道徳」や「心のノート」等、これまで文部科学省において作成してきた教材をまとめて掲載。</p>	

Ⅷ 今後の充実に向けた国の取組への示唆

20分で学べる！校内研修にも活用できる！！

## NITSのオンライン講座

動画配信サイト「YouTube」で20分の講義動画を配信しています。

NITS 校内研修シリーズ 検索

全国の学校教育関係職員に豊富で質の高い研修機会を提供するため、校外、校内、自己研修を問わず、いつでもどこにいても研修が可能となるよう、「校内研修シリーズ」を始め、講義動画などの研修教材を提供しています。「校内研修シリーズ」では、これまでに、本編93本、新学習指導要領編59本の計152本を配信しています。ぜひ積極的にご活用ください。

中学校・高等学校等の授業研究と教育課程の編成・実施に不可欠な専門誌

# 中等教育資料

文部科学省教育課程課編集



学習指導要領のねらいや実践のヒントを、文部科学省教育課程課及び視学官・教科調査官等が解説。文部科学省の最新情報を毎月お届けします！

- 55冊/年(11号) 送料680円+税10%
- 定価748円(送料680円+税10%)
- 年購価68,976円(送料680円+税10%)
- 毎月28日発売

## 令和4(2022)年度 特集

- 4月号 スワート！ 高等学校新学習指導要領
- 5月号 学校図書館を活用した授業づくり
- 6月号 STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進
- 7月号 積極的な生涯学習の充実
- 8月号 主筆者として求められる資質・能力を育む教育の充実
- 9月号 地域との協働による教育の推進
- 10月号 社会に開かれた教育課程を実現する一歩
- 11月号 1人1人1台端末等を活用した授業実践①
- 12月号 デジタル教科書を活用した授業づくり
- 1月号 資質・能力の育成に向けた教育活動の充実①
- 2月号 資質・能力の育成に向けた教育活動の充実②
- 3月号 資質・能力の育成に向けた教育活動の充実③

**電子版も販売中!** (Amazon, 楽天Kobo)  
電子版もよろしくお楽しみください。

授業づくりや学習指導案・年間計画作成、研修会に役立つ充実の内容!

**特集**  
文部科学省教育課程課、視学官・教科調査官等が主に執筆する「解説」。特集テーマに関連する分野の有識者が執筆する「論説」を軸に、特集テーマを考察します。「実践研究」では各学校等の先進的な実践事例を紹介しています。



**各教科等の改善/充実の視点**  
視学官・教科調査官による、学習指導要領に基づいた授業づくりをサポートするための1教科(科目)2ページの連載です。年間で中学校・高等学校の全教科等を網羅しています。



読者からの支持率 No.1 連載!  
全教職員必読です

**令和4年度の高コナー**

- 寄稿者 各分野の有識者が授業について論議。実践の最新の事例を紹介。実践的な内容です。
- 特別企画 全国の教育現場で、最新の事例を紹介。実践的な内容です。
- 特別企画 全国の教育現場で、最新の事例を紹介。実践的な内容です。
- 特別企画 全国の教育現場で、最新の事例を紹介。実践的な内容です。
- 特別企画 全国の教育現場で、最新の事例を紹介。実践的な内容です。
- 特別企画 全国の教育現場で、最新の事例を紹介。実践的な内容です。

## 中等教育資料 定期購読のご案内

▶定期購読は、FAX、お電話または学習雑誌ホームページよりお申し込みください。

中等教育資料 <input type="checkbox"/> 1月号より 毎月購読します。 〒〒〒 〒〒〒 〒〒〒	郵便番号 〒〒〒 〒〒〒 〒〒〒	公費購入 <input type="checkbox"/> 希望します
------------------------------------------------------------------------	---------------------------	----------------------------------------

FAX 0120-655-514  
TEL 03-3518-9016

### 私たちが応援します!

視学官・教科調査官からのメッセージ

中学校・高等学校、中等教育資料

- 水谷周人** (文部科学省 教科調査官) [職] 「教育は未来を創る。未来を創るには、先生方が日々実践を積み重ね、生徒の学びを支えることが重要です。この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 野内蘭** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林一人** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 三ツ文** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 入内真由** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 鈴木健児** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 中嶋美穂** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 鈴木健児** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 中嶋美穂** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 鈴木健児** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 中嶋美穂** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 鈴木健児** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 中嶋美穂** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 鈴木健児** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 中嶋美穂** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 鈴木健児** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 中嶋美穂** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 鈴木健児** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 中嶋美穂** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 鈴木健児** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 中嶋美穂** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 小林** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 山本** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 開谷有紀子** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」
- 渡辺** (文部科学省 教科調査官) [職] 「この雑誌は、先生方の実践を共有し、学びの場を広げていくための貴重なツールです。」